

帝釈小学校わかさ児童会
愛鳥カレンダー
1月ルリビタキ(ヒタキ科)



新年あけましておめでとう。かたがて、不景気が吹き回っている今日この頃ですが、なごの村はその逆風を順風にすべく、関係者のみなさんのお知恵をお借りしております。本年もどうぞよろしくお願いたします。皆様方も新しい年を恙なく迎えられることと、新年早々年賀状を戴いた皆様には厚くお礼申し上げますと共に、なごの村に対する温かい励ましのコメント、誠にありがとうございます。ご紹介申し上げます。

2009年(平成21)を迎えて

組合BIA平川邦康様、走島小学校校長藤井麗子様(山は海の友達をテーマに本校ならではの活動ができましたのは永野のみなさまのお陰と心より感謝申し上げます。)高島小学校校長松岡美穂(今年も夏にお世話になりました。なごの村のぬくもりが懐かしいです。)福山市議会議員早川佳行様、神龍駐在所原健吾様、永野郵便局長国光広之様、東京都赤木勝利様(全国的に疲弊していく地方にあつて、長さんを初め村民の皆様温かな親切心、たゆまぬ創意工夫、労を惜しまぬ奉仕等々に深い感動を与え続けておられることに誠に貴きことと存じます。ご健勝を心からお祈り申し上げます。)庄原市池田孝介様、福山市尾進一様(今年も赤ちゃん誕生の予定です。夏にはお会いできると嬉しいです。)高島市加納千里子様、福山市高島小学校5年山雄太君、走島小学校児童ことうた君、熊本県見永尚之様(世界一すばらしい

なごの村)、広島市三浦雅史様、横山亭様、福山市春石シゲ子様、市岡希望様(何時も新聞を送っていただき感謝しています。)福山市高橋一之様、福山市原田直希様、三原市横山卓美様、府中市上下町中曾茂様(順不同)ありがとうございました。さて、なごの村では元旦に15センチの積雪がありました。その後好天気と恵まれ1月6日にはほとんど雪もとけ、暖かい新年を迎えています。なごの村の初任事は6日より広報誌編集委員会で始まりました。そして嬉しうことに、年末から新年にかけて、ロケットクライマーが清沢山荘、郷土出身の学生さんがオーナーズハウスを利用されました。

また、団体予約は中国人研修生が11月に30人以上で、連続20日間、高島小学校の体験学習、近



協同組合BIA研修生

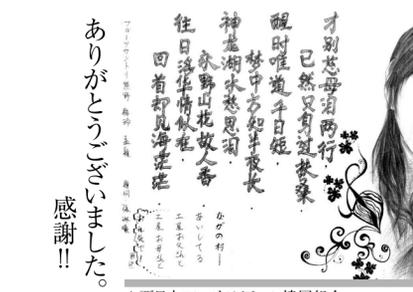
辺の子ども会行事一般の企業新入社員研修、花面公園とその周辺の整備をロケットクライマー達と住民で、運動会、浜谷コンサート、夏祭り、村祭りでも外部参加者を企画します。より多くの都市農村漁村交流になればと思っております。今後ともより以上のご支援をお願い申し上げます。なごの村新聞編集委員
赤木 小林 横山 横溝
大場 土屋



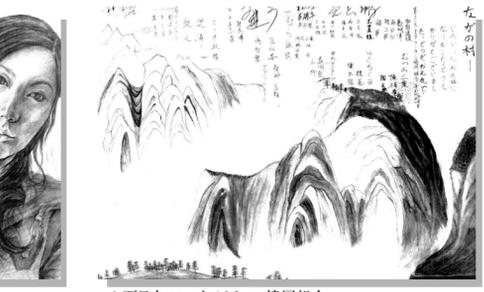
西日本コンストラクション協同組合



西日本コンストラクション協同組合



西日本コンストラクション協同組合



西日本コンストラクション協同組合

西日本コンストラクション協同組合より一報がありました。来年度も研修生受け入れを予定しております。その折にはまたお世話になるかと思っておりますが、何卒よろしくお願致します。

高知県土佐町役場 視察のお礼状

食物連鎖のお話

食物連鎖

帝釈小学校 愛鳥カレンダー届く

今年も児童手づくりのカレンダーが届きました。毎月なごの村新聞の表紙で紹介いたします。愛鳥委員よりお便りと表紙

短歌

両足を失いたる人パラインの 渾身の業 涙とまらず
一撥の雷鳴響きテレビ切れ 心臓の鼓動乱れて早し 三好ハツミ

秋深む朝のしじまの庭に立つ 小鳥のさえずり耳にさやけし
凍つく夜 風に吹かれてからからと 逃げる落葉に追ふ落葉かな 大上セツミ

なごの村では短歌を募集しております。どしどし応募下さい。

立ち話 第八話

永野の冬穴場発見!! 豊松のクリスマスツリー、雲海など。180度見渡せる場所はどこにあるでしょう。北農道、大池近くを是非探して見てください。

お知らせ 2月16日(月)なごの村人権学習を行います。(運営委員会19時30分より) ※18時30分にはなごの村会議室へおこしください。

お見舞い返し 大上セツミ様 ありがとうございます

今月の人物紹介、我が家の一品、比治山大学レポートは休みます。

福山市立走島小学校 植樹体験テレビ放映

広島ホームテレビがなごの村と走島小学校を訪れました。放映は1月20日(火)18時頃、番組はJステーション地球派宣言特集です。是非ご覧下さい!!

校長先生よりお礼状

4ヶ月ぶりに向かう走島小学校の子どもたちを迎えてくれた「なごの村」は、すっかり冬の装いでした。けれども、村の皆さんの笑顔はちつともお変わりなく、益々明るく、益々お元気な皆さんの再会を喜び合ふことが出来ました。ご苦労とお手間をありがとうございました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

下刈り、整地、穴掘り...どの時間や労力があつてあのように出来たのでした。理想を絶するほどの仕事量だったはず。おひとりおひとり、心より感謝申し上げます。併せて、お礼の気持ちも十分お伝えすることなく、いそいそと発ちました。ご無礼をお許しください。さて、子どもたちの感想は次のようでした。「なごの村親戚みだだね。」

「今日植えたクスギの木は10年後にはどのくらいになっているのかな。」
「苗木を植えていたら、蛙が跳び出してきた。冬眠しとったかな。」
二人で植えるより二人で植える方がみやすかったし楽しかった。」

「はじめてくわを使ったから難しかったけれども、楽しかった。」
保護者の皆さんからも感想や感謝のお札や将来への夢を語った文章が届き、企画した者がたけが味わる満足感に浸っています。それもこれも、村長さんのお陰と肝に銘じていっまでも心に残しておきたいと思つています。12月とは思えない温かさに助けられ植林も洞窟探検も滞りなく終わることが出来ました。本当に本当にラッキーでした。しかし来週には、冬將軍到来とか。永野の皆様、風邪などひかれませぬようにどうぞ新年をお迎えください。

意を尽くせませんが、感謝して、走島小学校の代表として、お礼の言葉といたします。 師走 福山市立走島小学校校長 藤井麗子

植樹体験の意味を学習しました。 森は海の恋人「狐師さんの森

「私たちが植樹したクスギの苗 落葉広葉樹の養分が何年後に瀬戸内海に注がれるのかな?」
クスギの苗が何十年か後に大きくなって、秋になると葉が落ちると腐葉土になります。雨がふると腐葉土の中の養分が溝に流れ、やがて帝釈川の流れに合流し、下流で福根川、東城川、高梁川に合流し、岡山県水島灘に流れ注ぎます。

なごの村の森から瀬戸内海までは全部つながっています。その間周辺の山々から流れてきた養分と合流して、植物プランクトンとなって動物プランクトンの餌になり、それが小魚の餌になるという食物連鎖のしくみを学習しました。

島山重篤著の「漁師さんの森づくり」の中に詳しく書かれています。歌人の熊谷龍子さんが島山さんに依頼されて、できた表題「森は海の恋人」という言葉がうまく表されています。